

平成30年12月10日

総合政策局総務課

訪日外国人の国内での移動が分かる最新データを公表

～九州観光における熊本県への訪問が回復傾向にあることなども見えます～

訪日外国人の国内での移動が分かる FF-Data の最新版(2017 年分)を公表しました。

FF-Data を使うと、都道府県間の移動の状況を確認することができます。また、2014 年以降、毎年分を公表しているため、例えば、熊本地震前後の外国人の移動状況の変化の把握などにも活用することができます。

1. FF-Data と分析結果の概要について

○国土交通省では、近年増加する訪日外国人の移動の実態を把握するため、FF-Data(訪日外国人流動データ)を作成・公表しています。FF-Data では、都道府県間の流動量、利用した交通機関、国籍等の把握やこれらを組合せた分析が可能です。

○今回公表した 2017 年の訪日外国人の移動の傾向は以下のとおりです。

- ・国内での移動量は、3 年連続増加傾向。
- ・移動量を国籍・地域別にみると、中国、台湾、韓国が多く、全体の約6割を占める。
- ・利用する交通機関は鉄道が最も多く、次いでバスでの移動が多い。

○例えば、FF-Data を利用して九州内の訪日外国人の移動を見てみると、熊本地震の影響を受けて 2015 年から 2016 年にかけて減少した福岡や大分から熊本への移動が、2016 年から 2017 年にかけて回復傾向にあることなどが分かります。

2. データの公表について

データは総合政策局ホームページに掲載しています。観光や交通をはじめとした様々な分野における活用が可能です。ぜひご活用ください。

URL : http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_fr_000022.html

<お問い合わせ先>

国土交通省総合政策局総務課 小川、鈴木

電話:03-5253-8111(内線:53102、53114) 直通:03-5253-8794

FAX:03-5253-1675